

## IV 修学旅行中止に伴う「代替行事」

修学旅行の中止に伴い、学校では様々な「代替行事」が行われた。

学校生活の思い出の中でも、生徒たちにとって特に思い出として心に残る行事である修学旅行は、同時に教育課程としても重要な位置付けにある。学習指導要領の特別活動の中の「旅行・集団宿泊的行事」に含まれる修学旅行は「平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと」とある。

残念ながら修学旅行が実施出来なかった学校の、厳しい制限下の中で行われた教育的意義と生徒たちの思い出づくりの詰まった「代替行事」を以下にまとめてみた。

### 【 特徴的な代替行事例 】

#### ■ バーチャル修学旅行

専用ゴーグルとスマートフォンをつなげ、修学旅行の訪問地であった京都や奈良の名所を疑似体験する。ゴーグルはVR（仮想現実）の技術を活用。清水寺の舞台や奈良公園の鹿などが立体的に映し出される。

#### ■ リモート修学旅行

ビデオ会議システムを活用し、訪問予定だった観光地をオンラインで体験。各教室に大型テレビやプロジェクターを設置し、お笑い芸人が進行役を務め、僧侶の法話や、観光地の歴史クイズ大会などを開催。職人の実演を見ながら、和菓子づくり体験なども行われた。

#### ■ 疑似沖縄修学旅行

大規模会場を借り、CGを利用した沖縄観光スポット巡りや沖縄関連の映画を鑑賞。沖縄食材を使用した昼食弁当を用意し、沖縄県出身アーティストによるミニコンサートを実施した。

#### ■ クラス別旅行

生徒企画立案の旅行。旅行先、日程、行程を複数設定。大人数での行動による「密」を分散。感染予防・拡大防止対策など、すべて生徒主導による旅行を実施。生徒が主体的に取り組む学習の場として、新たな修学旅行の形として、Afterコロナでも継続を考えている。

#### ■ 航空機チャーターフライト

航空機一機を貸切り、富士山や南アルプスそして地元上空を飛行。機内ではアナウンス体験や合格祈願の絵馬づくりが行われた。絵馬は後日、航空会社職員が太宰府天満宮に奉納。また空港施設内では、航空会社職員や国土交通省職員らによる航空教室を開催。客室乗務員や整備士、管制官等の仕事を学んだ。

#### ■ 地元再発見修学旅行

県を跨いで移動の制限を受け、地元の魅力を再発見する修学旅行を学校独自で企画。生徒、教職員保護者の意見を取り入れ、貸切バスを利用し県内の水族館を訪れた後、学校に戻りテレビのバラエティ番組を参考に「未成年の主張」を楽しんだ。宿泊も地元のホテルを利用。地の食材による料理を満喫した。夜には、ホテル隣接の海水浴場で、教職員と保護者の寄付金で「サプライズ花火」が打ち上げられた。

#### ■ 「二十歳の修学旅行」

「5年後に仲間達と思い出を作りたい」中学3年生の自分たちが大学生や社会人になっている20歳の自分を考え、行先やテーマを議論。自分たちの成人式で最終的な打ち合わせをし修学旅行を実施する。自治体の企画で、市が1人2万円の旅行券を交付した。

【 数多くみられた代替行事 】

- ・ 日帰り旅行（遠足）
- ・ 校内スポーツ大会
- ・ 学年レクリエーション
- ・ 貸切バス旅行
- ・ リモート、講師招聘による戦争体験講話
- ・ 校内宿泊体験（校庭にテントで寝泊まり）
- ・ 地元探索（風土、歴史）
- ・ 遊園地、水族館等貸切見学
- ・ 芸術鑑賞、映画鑑賞
- ・ 校内語学研修（海外の大学生とのリモート交流）
- ・ 地元ホテルでのテーブルマナー
- ・ 清掃活動



航空機チャーターフライト



クラス別旅行



「二十歳の修学旅行」



リモート修学旅行



地元再発見修学旅行